



音楽を流し横断幕を広げコールしながらパレードする参加者=22日、金沢市

「戦争法反対」元気にアピール

金沢でサウンド・パレード

石川県の「安保法制に反対するサウンド・パレード」実行委員会は22日、金沢市でパレードを行い120人が参加しました。9月12日に続いて2回目。

新谷愛子弁護士がいさつし、「私たちは憲法の勉強の第一に立憲主義を学ぶ。憲法が国が破ってはいけません。国家権力を憲法が

縛る。安保法制は立憲主義違反のとんでもない法律だ」と批判しました。

実行委員が「戦争法廃止めざし元気に楽しくアピールしよう」と述べ、パレード開始。サウンドカーを先頭に「戦争法反対」「野党は共闘」と書いたプラカードを掲げ「憲法守れ、命を守れ」「国民無

視する総理はいらない」と音楽に合わせリズムカルにコールしながら繁華街を行進しました。

外国人の観光客が拍手で激励。ビルの3階から「戦争ノー」のパ

ネルをかざして連帯をアピールする場面もありました。

小松市から夫婦で参加した前川篤志さん(66)は「戦争法廃止の思いで参加した。若者に元気をもらいました」と言って帰路につきました。